

ICLAS MONITORING CENTER
CENTRAL INSTITUTE FOR EXPERIMENTAL ANIMALS
3-25-12 Tonomachi, Kawasaki-ku, Kawasaki, Kanagawa, 210-0821 JAPAN
Tel: 81-44-201-8525 Fax: 81-44-201-8526

2021年3月18日

旭川医科大学 動物実験施設 御中

公益財団法人実験動物中央研究所 ICLASモニタリングセンター

検査番号: 21H264 管理No. K0061

## マウスの病理学的検査結果

2021年3月11日にご依頼されました(同年3月16日受取・検査実施)マウス(ASPF(6)-WT: WT(B6), オス, 3-4ヶ月齢) の病変部検査成績は以下の如くでした。

<検査項目および結果>

外観·剖検所見

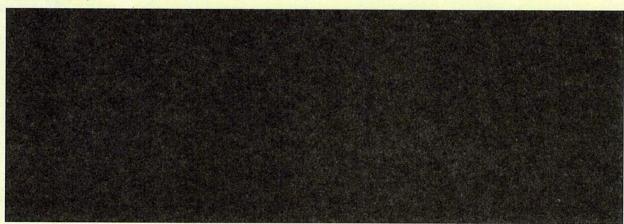


図1: 検体No.1 ASPF(6)-WTの外観・剖検所見

- ・左傍正中下腹部の腫脹
- ·左包皮腺肥大
- ・病変部内部にカスタードクリーム様淡黄色物質貯留
- ・その他、著変を認めず。



ICLAS MONITORING CENTER
CENTRAL INSTITUTE FOR EXPERIMENTAL ANIMALS
3-25-12 Tonomachi, Kawasaki-ku, Kawasaki, Kanagawa, 210-0821 JAPAN
Tel: 81-44-201-8525 Fax: 81-44-201-8526

## 病変部に関連した微生物学的検査

・包皮腺病変部の内部貯留物質からStaphylococcus aureusを検出。

コメント

以上の結果から、検体No.1 ASPF(6)-WT マウスにおける包皮腺病変は、Staphylococcus aureus 感染に起因した包皮腺膿瘍と診断されました。Staphylococcus aureus 感染による包皮腺膿瘍は実験動物マウスにおいて散見されます。



ICLAS Monitoring Center / Monitoring Services Laboratory